

# 下郷町文化財略年表

西暦	年号	事項
BC 三〇〇前	縄文遺跡 一四ヶ所 ※表面調査の爲推定	縄文文化おこる
一五〇〇中	塔の形が形成	石刃文化
一〇〇〇後	中山風穴形成	貝塚
三〇〇前	弥生遺跡 一八ヶ所	弥生文化
飛鳥	稲作農業始まる	稲作農業始まる
奈良	金属器の伝来	金属器の伝来
700	仏教の伝来	仏教の伝来
800	岳観世音開基(八〇七)	最澄天台宗開く
900	榑原円福寺建立・聖観音開眼(八四八)	空海真言宗開く
1000	南倉沢字円寺建立(一一〇八)	法然浄土宗開く
1100	戸赤紅梅御前・大内桜木姫の霊祠つくらる(一一九四)	中尊寺金色堂できらる
1200	大内高倉神社勧請	僧徳一慧日寺に住む
1300	館の構築始まる 一ヶ所確認	勝常寺華師如来開眼
1400	弥五馬華師寺(万願寺)華師如来開眼(一二二一)	道元曹洞宗を開く
1500	大松川熊野神社勧請(一二五〇)	
1600	小野観音堂建立(口奉納される(一二八二))	
1700	中妻正光寺観音堂建立不動明王・毘沙門天奉納(一三八八)	
1800	倉谷修験開祖役小角像開眼(一三九八)	金閣寺造営
1900	成岡大善院開基(一四一八)	
2000	大松川円通寺(遍照寺)建立(一五〇六)	銀閣寺造営
2100	弥五馬華師堂釣燈籠作(一五五一)	能楽・小唄など開ける
2200	南倉沢懸仏作(推定)	茶の湯・生花・連歌流行す
2300	榑原八幡神社勧請(一五五五)	キリスト教の伝来
2400	大松川宝篋印塔建立(一五七三)	城郭建築が盛んになる
2500	大内正法寺建立(一五七五)	
2600	塩生長福寺(旭田寺)建立(一五八九)	
2700	塩生聖観音開眼(一五九〇)	
2800	榑原円福寺両界曼荼羅・無量義経開眼(一六一五)	
2900	小出西福寺建立(一五九四)	

西暦	年号	事項
1600	江戸 初	芦の原明宗寺建立(一六二二)
1700	江戸 中	大松川円通寺地蔵尊開眼(推定)
1800	江戸 末	弥五馬万願寺建立(一六六六)
1900	明治 初	倉谷松庵寺建立(一六七七)
2000	明治 中	中妻飯田堰開鑿(一六七七)
2100	明治 末	辻高札令を出す(一六八三)松川・大内など
2200	明治 初	弥五馬千手観音堂建立(一六八九)
2300	明治 中	大松川円通寺不動明王開眼(一六九六)
2400	明治 末	小野観音小絵馬奉納される(一七〇四)
2500	明治 初	落合大日堂華師如来開眼(一七三三)
2600	明治 中	成岡華師如来開眼(推定)
2700	明治 末	各地に神社造営される
2800	明治 初	成岡不動明王開眼(推定)
2900	明治 中	各地に供養塔建立される
3000	明治 末	小野観音堂再建十六羅漢奉納(一八一二)
3100	明治 初	新開太子堂建立(一八一六)
3200	明治 中	岳観音仁王門できらる(一八四二)
3300	明治 末	豊成円蔵堰開鑿(一八六三)
3400	明治 初	岳観音堂再建(一八九二)
3500	明治 中	大内宿整備
3600	明治 末	俳諧・浄瑠璃・歌舞伎
3700	明治 初	浮世絵など盛んになる
3800	明治 中	藩校教育始む
3900	明治 末	民間信仰盛んになる
4000	明治 初	各種「講」行事できらる
4100	明治 中	寺小屋教育始む
4200	明治 末	医学・蘭学・地理・物理
4300	明治 初	化学・農学など盛んになる
4400	明治 中	神仏分離令公布
4500	明治 末	学制公布

## ●下郷町文化財

昭和58年度発行

発行 / 下郷町教育委員会

印刷 / 田中印刷

Photo / 林写真館